



にさんかたんそ せっかいすい 二酸化炭素はなぜ石灰水をにごらすの

にさんかたんそ せいしつ 二酸化炭素の性質の一つ

にさんかたんそ
二酸化炭素は、ろうそくなどが燃えるとき
にできます。右の図のように、びんに石灰水
を入れて、ろうそくを燃やす前にふります。
つぎ、びんの中でろうそくを燃やして火が
消えたら、ろうそくを取り出してよくふりま
す。

ろうそくを燃やす前にびんをふっても、石
灰水の色は変化しません。ろうそくを燃やし
たあとでびんをふると、石灰水は白くにごり
ます。

これは、石灰水が二酸化炭素にふれ、水にとけない炭酸カルシウムができて、白くにごっ
たのです。二酸化炭素の性質の一つです。

にさんかたんそ せいしつ りょう そのほかの二酸化炭素の性質を利用したもの

にさんかたんそ こたい
二酸化炭素を固体(ドライアイス)にすると、たいへん低い温度になるので、食品を冷と
うするのに使われています。また、にさんかたんそ みず
二酸化炭素は水によくとけるので、サイダーやラムネな
どの、せい いんりょうすい つく りょう
清りょう飲料水を作るときに利用されています。(監修・小川 格)

